



Datamart
for WebReport 2.0

トラブル対応マニュアル

ごあいさつ

このたびは弊社製品 Datamart for WebReport2.0 をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

(以下、Datamart for WebReport2.0 を「本製品」と呼び、ご説明して参ります。)

本製品は、基幹系や情報系のデータベースなど様々なデータをフィルタ群やスクリプトを使って自由に加工し、転送するデータ転送ツールです。

本書は、本製品サーバー実行時や定義実行時に起こりうるエラーのメッセージとその原因について記載しております。ご使用の際にお読みください。

なお、表示画面などは操作の一例として掲載しているものです。お客様のご使用環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。

版權 / ご注意



本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容の一部または全部を無断で複写転載することを禁じます。

本書に掲載の内容および製品の仕様などは、予告なく変更されることがあります。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれ、乱丁、落丁などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

本書の表記方法について

 注意	ハードウェアやソフトウェアの損害やエラーの発生を防止するために、必ず守ってください。
	特定のテーマに関する補足情報を記載しています。
メニュー、アイコン、ボタン、ウィンドウ、タブ	[] で囲んで表記します。 (例) [OK] ボタンをクリックします。
キーボード上のキー	< > で囲んで表記します。 (例) キーボードの < Tab > キーを押します。
参照先	章、節、項は『 』、見出しは「 」で囲んで表記します。

目次

ごあいさつ	i
著作権 / ご注意	i
本書の表記方法について	i
目次	ii
第 1 章 エラー	1
1 サーバー起動時のエラー	2
1.1 エラー出力先	2
1.2 エラー一覧	3
2 定義実行時のエラー	7
2.1 エラー出力先	7
2.2 SQLException への対応	9
2.3 定義実行に長時間かかる場合	11

第 1 章

第1章 エラー

1 サーバー起動時のエラー

1.1 エラー出力先

サーバー起動時のエラー出力先は、エラーが起きたと同時に表示される画面上のメッセージ（サービス以外で起動した場合）とエラーメッセージが保管される場所に分かれます。

例）ネットワークが繋がっていない状態で本製品サーバーを起動したとき（Windows）

```
利用するQanat Home :: .
利用するJava環境 : %jre1.5.0_17#bin#java
start
MGRMGR : nct
com.ibm.db2.jcc.c.DisconnectException: java.lang.reflect.InvocationTargetException: Error opening socket to server /192.168.133.225 on port 50000 with message
: null DB2ConnectionCorrelator: null
at com.ibm.db2.jcc.b.fc.a(fc.java:371)
at com.ibm.db2.jcc.b.fc.<init>(fc.java:66)
at com.ibm.db2.jcc.b.a.v(a.java:255)
at com.ibm.db2.jcc.b.b.a(b.java:1797)
at com.ibm.db2.jcc.c.p.<init>(p.java:941)
at com.ibm.db2.jcc.b.b.<init>(b.java:326)
at com.ibm.db2.jcc.DB2Driver.connect(DB2Driver.java:165)
at java.sql.DriverManager.getConnection(Unknown Source)
at java.sql.DriverManager.getConnection(Unknown Source)
at cv.fwk.standalone.SA_DataSource.getConnection(SA_DataSource.java:65)
at cv.fwk.standalone.SA_DataSource.getConnection(SA_DataSource.java:49)
at cv.fwk.DAMer.getNewDataConnection(DAMer.java:133)
at cv.fwk.DAMer.init(DAMer.java:244)
at cv.fwk.MgrMer.initmgr(MgrMer.java:300)
at cv.fwk.MgrMer.<init>(MgrMer.java:95)
at cv.fwk.standalone.CvMain.exec(CvMain.java:32)
at cv.fwk.standalone.CvMain.main(CvMain.java:45)
Create Manager Error [properties file:nct][manager:damgr :javax.servlet.ServletE
```

ログの保管先は以下です。

log ファイル

場所：導入ドライブ:%Program Files%Customer Vision%QanatSvr%log（デフォルト）

本製品サーバーの全ログが出力されます。

Err ファイルよりも詳細な情報が記録されています。

1.2 エラー一覧

以下、本製品導入ドライブ:¥Program Files¥Customer Vision を本製品導入パスと呼びます。

接続の許可が失敗しました。理由：ユーザーID またはパスワードが無効です。 ERRORCODE=-4214 ,SQLSTATE=28000	
原因	CVDB 接続へのログイン ID、パスワードに誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内の <code>userid=""</code> 、 <code>password=""</code> の部分に正しいログイン ID 又はパスワードを記述して 下さい。

パスワード長 0 は許可されていません。 ERRORCODE=-4461 ,SQLSTATE=42815	
原因	CVDB 接続へのパスワード記述項目が存在しない、又は誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内に <code>password=""</code> の記述項目が存在するか確認し、ない場合追記して下さい。

ユーザーID の長さ 0 は許可されていません。 ERRORCODE=-4461 ,SQLSTATE=42815	
原因	CVDB 接続へのユーザーID 記述項目が存在しない、又は誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内に <code>userid=""</code> の記述項目が存在するか確認し、ない場合追記して下さい。

SAXParseException:The element type "datasource" must be terminated by the matching end-tag "</datasource>".	
原因	datasource.xml 内の CVDB 接続の為の記述欄最後尾に / (スラッシュ) が抜けています。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内の最後尾に / (スラッシュ) の記述がされているか確認し、ない場合追記して下さい。

NamingException:java.lang.ClassNotFoundException:om.ibm.db2.jcc.DB2Driver ~ ~	
原因	ドライバ名 or ドライバ名 記述項目が存在しない、又は誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内の driver=""の記述がされているか確認し、ない場合追記して下さい。 又、そのドライバ名が正しいか確認し、誤っている場合修正して下さい。

SQLException:No suitable driver	
原因	ドライバの URL or URL 記述項目が存在しない、又は誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内の url=""の記述がされているか確認し、ない場合追記して下さい。 又、その URL が正しいか確認し、誤っている場合修正して下さい。

SAXParceException:The mark up in the document following the element must be well-formed.	
原因	datasource.xml 内に<dslist></dslist>の記述が存在しません。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内に <dslist></dslist>の記述がされているか確認し、ない場合追記して下さい。

DataSource Error: javax.Naming.Exception: not found in datasource.xml	
原因	datasource 名 記述項目が存在しない、又は誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内の datasource=""の記述がされているか確認し、ない場合追記して下さい。

SAXParseException:Invalid encoding name "UTF-"	
原因	encoding 名 に誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内に encoding="" の記述を参照し、encoding 名が正しいか確認して下さい。 誤っている場合正しい encoding 名を記述して下さい。

SAXParseException:The encoding decleration is the text decleration.	
原因	encoding 名 記述項目に誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内に encoding="" の記述が正しくされているか確認し誤っている場合修正して下さい。

SAXParseException:The document type decleration for root element type "dolist" must end with	
原因	datasource.xml 内に!DOCTYPE の記述が存在しません。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内に <!DOCTYPE dolist SYSTEM ""> の記述がされているか確認し、ない場合追記して下さい。

SAXParseException:XML version ".0" is not supported, only XML 1.0 is supported	
原因	XML のバージョン名、バージョン記述項目に誤りがあります。
対処	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml 内に xml version="" の記述がされているか確認し、ない場合追記して下さい。 又、そのバージョン名が正しいか確認し、誤っている場合修正して下さい。

cv.fwk.DAMgr:com.ibm.db2.jcc.c.DisconnectException:java.lang.reflect.InvocationTargetException:Error opening socket to server /192.168.133.225 on port 50000 with message: null DB2ConnectionCorrelator: null	
原因	DB2 に接続できません。
対処	ネットワーク接続を確認後再起動して下さい。又は DB2 が存在するか確認し、正しい接続設定を本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥datasource.xml に記述して下さい。

cv.prog.nctSOAP.HTTPServer:java.net.BindException: Address already in use: JVM_Bind	
原因	既にサーバーが起動しているか、指定したポートが使われています。
対処	ポート番号が他にも使われている場合はポート番号変更を行ってください。

Can't write log [~ ~ ~ .log] :java.io.FileNotFoundException:	
原因	本製品導入パス¥QanatSvr¥config2¥qanat¥message.xml に記述されたログ出力先が存在しません。
対処	ログ出力先を正しく記述して下さい。

?????mgr2.xml:1:1: Content is not allowed in prolog. Create Manager Error [properties file:nct][manager:null :org.xml.sax.SAXParseException:	
原因	本製品導入パス¥QanatSvr¥jre1.5.0_17¥lib¥ext¥nctsoap¥nct_ja_JP.properties のデフォルトカレントリ設定欄が初期値(?????)
対処	「rootdir=」の項目にデフォルトカレントリを記述して下さい。

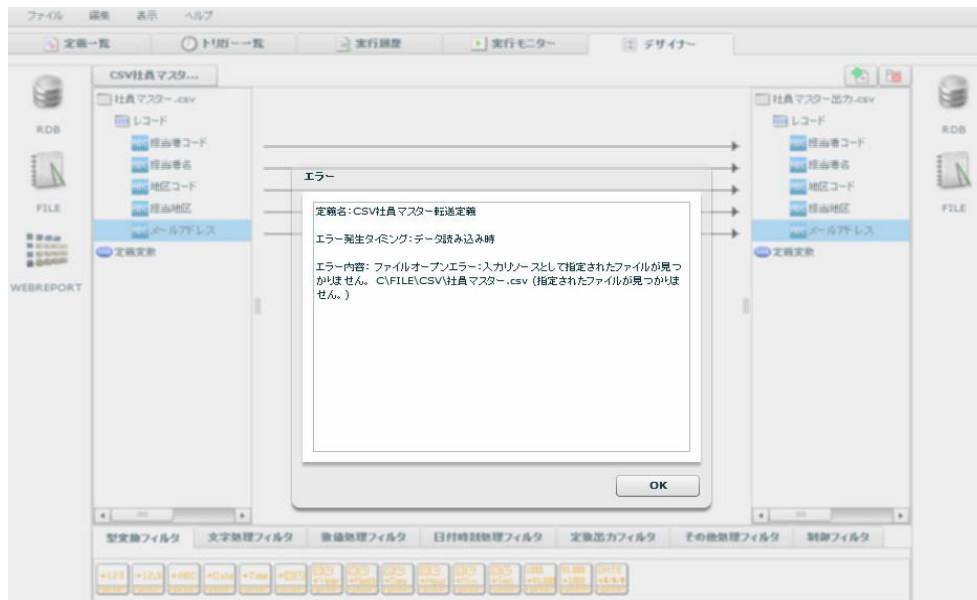
2 定義実行時のエラー

2.1 エラー出力先

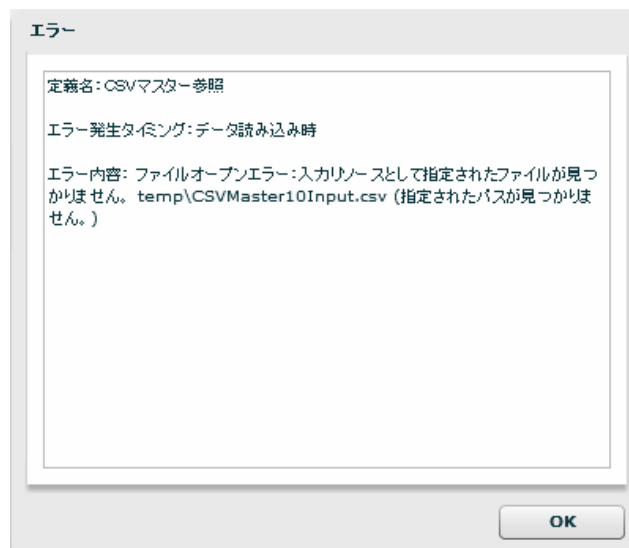
操作画面

本製品定義実行時にエラーが起きるとまず操作画面にエラーメッセージが表示されます。

例) 入力リソースが存在しないとき。



また、基本的な定義実行エラーのフォーマットは以下のような構成になっています。



定義名：エラーが発生した定義の名前です。

エラー発生タイミング：エラーが発生した処理のタイミングが表示されます。タイミングには、定義チェック時、データ読み込み時、データ変換時、データ書き込み時の4つがあります。

エラー内容：発生したエラーの内容が表示されます。大体のエラーの場合この内容から原因を特定することができます。

また、エラーが出た場合そのエラーログが各フォルダに保存されます。

以下を参照して下さい。

err ファイル

場所：導入ドライブ:\Program Files\Customer Vision\QanatSvr\error (デフォルト)

個別の実行 ID ごとのエラーが格納されます。

実行時のエラーコードが出力されますので、前述のサイトでエラー内容の詳細&対応方法をご確認ください。

例) ユニーク制約違反の例

データ出力でエラーが発生しました：java.sql.SQLException: [SQL0803] 重複するキーの値が指定された。

出力データ:1 レコード目

- 1 java.lang.String:101
- 2 java.lang.String:ブレンドコーヒー
- 3 java.math.BigDecimal:450

入力データ:1 レコード目

- 1 java.lang.String:101
- 2 java.lang.String:ブレンドコーヒー
- 3 java.math.BigDecimal:450

また、データベースへ格納する前に、フィルタ処理中にエラーが発生している場合もあります。

この場合は、マッパー定義を正しく修正する必要があります。

例) フィルタ処理でエラー発生の例

変換処理エラー：データ出力先 3 フィールド目に結合したフィルタでエラーが発生しました

出力データ:1 レコード目

- 1 java.lang.String:101
- 2 java.lang.String:御茶ノ水店
- 3 **cv.qanat.filter.ErrorValue:文字列連結**

入力データ:1 レコード目

- 1 java.lang.String:101
- 2 java.lang.String:御茶ノ水店
- 3 java.lang.String:東京都千代田区神田駿河台 2-9-8

log ファイル

場所：導入ドライブ:\Program Files\Customer Vision\QanatSvr\log (デフォルト)

本製品サーバの全ログが出力されます。

Err ファイルよりも詳細な情報が記録されています。

2.2 SQLException への対応

(1)参照 URL

エラーメッセージに `java.sql.SQLException` や `com.ibm.db2.jcc.c.SqlException` などが含まれていた場合 SQLException というコード付きのエラー内容です。

各データベースによって返すエラーメッセージやその意味が異なる場合があります。

使用データベースから以下サイトを検索し、エラーメッセージやエラーコードの意味を調べ原因を特定して下さい。



2009/03/20 時点の情報です。

予告なく変更されることがあります。その際には、移転先を参照ください。

Oracle エラーコード

Oracle エラーメッセージ検索 (要無料登録)

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/reference/msg/index.html>

DB2 エラーコード

IBM DB2 Database for Linux, UNIX, and Windows インフォメーション・センター (Version 9)

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/db2luw/v9/index.jsp>

IBM DB2 Database for Linux, UNIX, and Windows インフォメーション・センター (Version 9.5)

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/db2luw/v9r5/index.jsp>

DB2 400 エラーコード

SQL メッセージ・ファインダー

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systems/scope/i5os/topic/rzas2/rzas2finder.htm?tocNode=toc:rzahg/i5os/4/7/6/7/>

SQL メッセージのリスト

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systems/scope/i5os/topic/rzala/rzalaml.htm?tocNode=toc:rzahg/i5os/4/7/6/6/>

IBM System i and i5/OS Information Center

<http://publib.boulder.ibm.com/series/>

SQL Server エラーコード

イベントとエラー メッセージ センター

http://www.microsoft.com/technet/support/ee/ee_advanced.aspx

(2)例

ここでは代表的な SQLException の例をいくつか挙げていきます。

<<データ転送編>>

Null 不許可なのに、Null 値がセットされた

【Oracle】

output error:java.sql.SQLException: ORA-01400: cannot insert NULL into ("SYSTEM"."STR_OUT2"."KEY1")

【DB2】

データ出力でエラーが発生しました : com.ibm.db2.jcc.c.SqlException: DB2 SQL error: SQLCODE: -407, SQLSTATE: 23502, SQLERRMC: TBSPACEID=2, TABLEID=10, COLNO=4

【SQL Server】

データ出力でエラーが発生しました : java.sql.SQLException: [Microsoft][SQLServer 2000 Driver for JDBC][SQLServer]テーブル 'APPLTEST.dbo.文字混合' の列 'ふいーると 1' に値 NULL を挿入できません。この列では NULL 値が許可されていません。INSERT は失敗します。

ユニーク制約違反

【Oracle】

output error:java.sql.SQLException: ORA-00001: unique constraint (SYSTEM.SYS_C001572) violated

output error:java.sql.SQLException: ORA-00001: 一意制約(SYSTEM.SYS_C005765)に反しています

【DB2】

データ出力でエラーが発生しました : com.ibm.db2.jcc.c.SqlException: DB2 SQL error: SQLCODE: -803, SQLSTATE: 23505, SQLERRMC: 1;DBADMIN.DATATYPE

【SQL Server】

データ出力でエラーが発生しました : java.sql.SQLException: [Microsoft][SQLServer 2000 Driver for JDBC][SQLServer]制約 'PK_売上実績更新用' の PRIMARY KEY 違反。オブジェクト 'dbo.売上実績更新用' には重複したキーを挿入できません。

自動採番フィールドに値をセット

【DB2】

output error:com.ibm.db2.jcc.c.SqlException: DB2 SQL error: SQLCODE: -798, SQLSTATE: 428C9, SQLERRMC: FIELD1

出力桁あふれ

【DB2】

データ出力でエラーが発生しました : com.ibm.db2.jcc.b.jm: DB2 SQL Error: SQLCODE=-302, SQLSTATE=22001, SQLERRMC=null, DRIVER=3.50.152

【Oracle】

output error:java.sql.SQLException: ORA-12899: 列"SYSTEM"."OUTPUTST_ORDER_ITEM_C1"."DATA2"の値が大きすぎます(実際: 23、最大: 20)

【Microsoft SQL Server】

データ出力でエラーが発生しました : java.sql.SQLException: [Microsoft][SQLServer 2000 Driver for JDBC][SQLServer]float から型 numeric への変換で、算術オーバーフロー エラー。

データ出力でエラーが発生しました : java.sql.SQLException: [Microsoft][SQLServer 2000 Driver for JDBC][SQLServer]文字列データまたはバイナリ データが切り捨てられます。

精度あふれ

【Oracle】

データ出力でエラーが発生しました : java.sql.SQLException: ORA-01438: この列に許容される指定精度より大きな値です

【DB2】

com.ibm.db2.jcc.c.SqlException: BigDecimal conversion exception [ibm][db2][jcc][converters] Overflow occurred during numeric data type conversion of "9999999.9".. See attached Throwable.

データ出力でエラーが発生しました : com.ibm.db2.jcc.c.xg: Invalid data conversion:Requested conversion would result in a loss of precision of 9999999999

INTEGER 型に NUMBER の最大値をセットした時

データ出力でエラーが発生しました : java.sql.SQLException: ORA-01438: この列に許容される指定精度より大きな値です

SMALLINT に INTEGER の最大値をセット
 データ出力でエラーが発生しました : com.ibm.db2.jcc.b.nm: [jcc][10177][11594][3.50.152] データ変換が無効です:
 要求された変換を行うと 1.23456789E9 の精度を失う結果となります。 ERRORCODE=-4461, SQLSTATE=42815

サーバ接続が強制的にきられていて、プールにはコネクションが残されていたとき

【DB2】

output error:com.ibm.db2.jcc.c.DisconnectException:
 Execution failed due to a distribution protocol error that caused deallocation of the conversation.
 The command requested could not be completed because of a permanent error condition detected at the target
 system.
 DB2ConnectionCorrelator: NF000001.P606.090314060801

自動値生成フィールドに値を転送した時

【DB2】

データ出力でエラーが発生しました : com.ibm.db2.jcc.c.SqlException: DB2 SQL error: SQLCODE: -798,
 SQLSTATE: 428C9, SQLERRMC: FIELD1
 FIELD1 というフィールドは自動採番フィールドに値を転送しようとした

【Microsoft SQL Server】

データ出力でエラーが発生しました : java.sql.SQLException: [Microsoft][SQLServer 2000 Driver for
 JDBC][SQLServer]IDENTITY_INSERT が OFF に設定されているときは、テーブル '売上実績更新用' の ID 列に明示
 的な値を挿入できません。

フィールド名によろしくない文字が含まれている時

【Oracle】

ORA-00917: カンマがありません。

【DB2】

データ出力でエラーが発生しました : com.ibm.db2.jcc.c.SqlException: DB2 SQL error: SQLCODE: -104,
 SQLSTATE: 42601, SQLERRMC: .1;METEST (BIGINT,FLOAT;<space>

2.3 定義実行に長時間かかる場合

処理に長時間かかる定義を本製品クライアントから直接実行した場合、クライアントに以下のエラーがでることがあります。



処理自体は実行されていますので実行履歴やログから処理結果をご確認ください。

Datamart for WebReport2.0トラブル対応マニュアル

2012年12月14日 第1版発行

発行 JB アドバンス・テクノロジー株式会社

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目9番地C号ビル

お問い合わせ 弊社ホームページより、お問い合わせください。

<http://www.jbat.co.jp/>

本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部あるいは一部に関して、JB アドバンス・テクノロジー株式会社からの文書による許諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられています。また、本書はユーザーへ通知することなく変更される場合があります。

